

KRYNA

KRYNA

KRYNA

KRYNA

KRYNA 吸音材

# Watayuki & Dokayuki

使いこなしテクニックBOOK



# 自宅でルーム チューニング？

ルームチューニングなんて言うと、  
レコーディングスタジオやホールでしか縁のない話…  
なんて思っていないですか？

そんなことはありません。  
音楽を聴く部屋なら何処だって良いのです！  
音の鳴るところに”ルームチューニングあり”  
という位、実はもっと身近なことなんですよ。

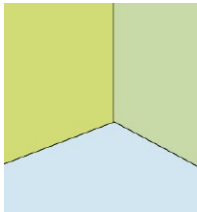
実際にはオーディオ機材にこだわることに満足してしまい、  
とかく怠りがちなのがルームチューニングの現状です。  
なぜなら、やってみたいけどなんだかちょっと難しそう、  
大掛りで面倒、という声が大半です。

でも、本当は想像しているよりも簡単に、  
遊び感覚でチューニングができるんですよ。

今までと違った、手軽なチューニングの世界を  
ちょっとだけのぞいてみましょう！

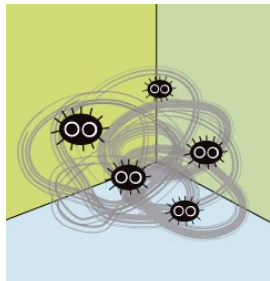
## なぜ、チューニングが必要なの？

はい。なぜって、それはもっと音を心地よく聴きたいからですよ。  
機材が一式揃い、さあ、これからどうやって音を良くしよう？  
そんな時がルームチューニングの出番です。  
下のイラストをご覧ください。



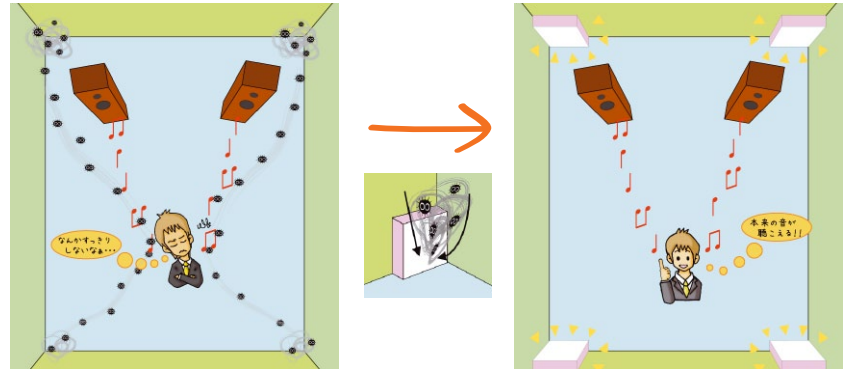
←こちら。さて、これは何でしょう？  
正解は、「部屋の角」です。  
この「部屋の角」にご着目。オーディオルームに限らず、だいたい8つはある「部屋の角」。入口がくぼんでいたり、はりや棚があったりすると、角はどんどん増えていきます。ところが、この「部屋の角」、これがオーディオの天敵なのです。

実は、この部屋の角には、目に見えない魔物が住み着いているのです。部屋の角では、3面の壁によって音が反射していくので、角の空間の音がこもって、目に見えないモヤモヤが出来てきてしまいます。試しに、そのモヤモヤを目に見えるように表現してみました。見た目にはちょっとかわいいですが、実はかなりのクセ者なんですよ。そのクセ者っぷりをちょっと見てみましょう。



部屋の角で発生したこのモヤモヤ、ずっと部屋の角に居てくれば良いのですが、そう都合良くはいきません。部屋の角からフラフラ〜と飛んできて、スピーカーから鳴っている本来の音に重なってしまうのです。

目には見えませんが、気付かないうちに色々と悪さをしているのです。そこで活躍するのが吸音材。音を吸収する役割の吸音材をモヤモヤが発生する場所に置いてあげると、このモヤモヤを吸収・抑制してくれるのです。部屋の角で発生していたモヤモヤが無くなると、はっきり・スッキリとした本来の音が聴こえるようになります。



でもちょっと待って！吸音するものなら何でもいいの？  
いえいえ、そんなことはありません。ぬいぐるみや座布団でも、もちろん吸音になりますが反対に音がこもってしまったり、逆効果になることも…  
そこで、おすすめなのがKRYNAの吸音材「Watayuki」&「Dokayuki」。  
チャーミングな名前とはウラハラに、モノスゴイ吸音力を持つモヤモヤ撃退グッズです。そんな吸音材について、じっくりご紹介しましょう！

# ふんわり、かる～いワタユキ。 Watayuki 解体新書

カラフルな  
バリエーションで  
レイアウトも楽しく！

さて、Watayuki のパワーがわかりましたか？  
モヤモヤを少しずつ撃退して、  
自然で聴き心地の良い音場空間を目指しましょう！

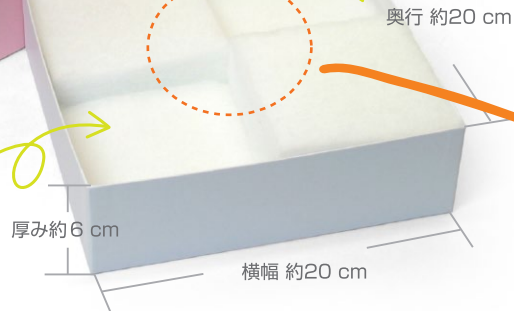
古くから日本で守られてきた  
紙箱技術を使いました。  
紙は、スピーカーのユニットにも  
使われるほど、音への影響が少なく  
通気性に優れた素材です。  
見かけによらず、  
軽くてとても丈夫！

さりげなく、  
キラリと光る  
KRYNA ロゴ！

吸音すると音が“こもる”  
といったマイナスイメージを払拭。  
音が自然に減衰し、  
吸音と通気の  
バランスが抜群！

## check!!!

素材は高分子材の  
PET でできています。



## 4種類の厚み!

厚みにより、透過・吸音のコントロール。

- ◆ 立体吸音構造で、吸音面積 UP！
- ◆ 波長の特性を考慮。厚みの違いにより  
広い帯域をバランス良くカバー。

## モヤモヤスポットを探せ！

では、やる気の出たあなたに、もうちょっとだけ詳しく、モヤモヤが発生しやすい『モヤモヤポイント』をご紹介します！

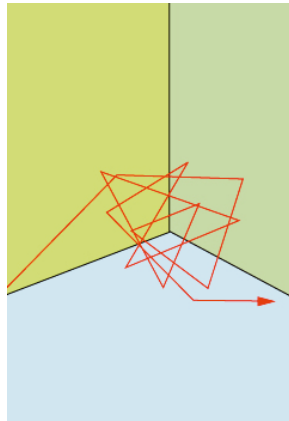
### ～モヤモヤポイント その1～

まずは前のページでご紹介した「部屋の角」です。

「部屋の角」になる部分では、そこに入り込んだ音が反射を繰り返すので、“こもり音”と言うモヤモヤが発生してしまいます。

部屋の角に限らず、家具や荷物によって無数に発生するこのモヤモヤ。

全部対応するのは至難の業ですが、まずは気になる所だけでも吸音材を置いてみましょう！



### ～モヤモヤポイント その2～

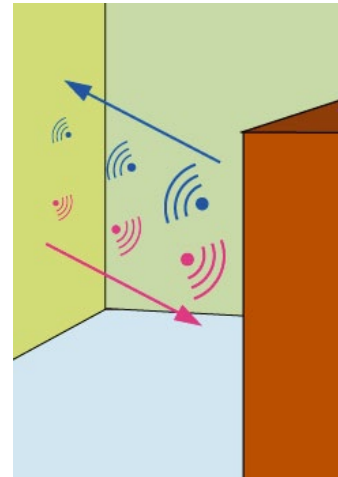
続いて、2箇所目は「スピーカーの後ろ、壁との間」です。

バスレフ構造のスピーカーは言うまでもありませんが、密閉型のスピーカーも意外と後ろに音が出ています。

その後ろに出ている音が壁で反射してやまびこの様に戻ってくると、その戻ってきた音が行きの新しい音と重なり、さらにスピーカーの背面で反射した音が重なり…と、どんどん音が重なる事で、“モヤモヤ”が発生してしまうのです。

このモヤモヤの対策には、「スピーカーの後ろ」に吸音材を置きましょう。

大掛かりな吸音材を使いたくない小型スピーカーでも、Watayuki なら気軽に置く事ができます！

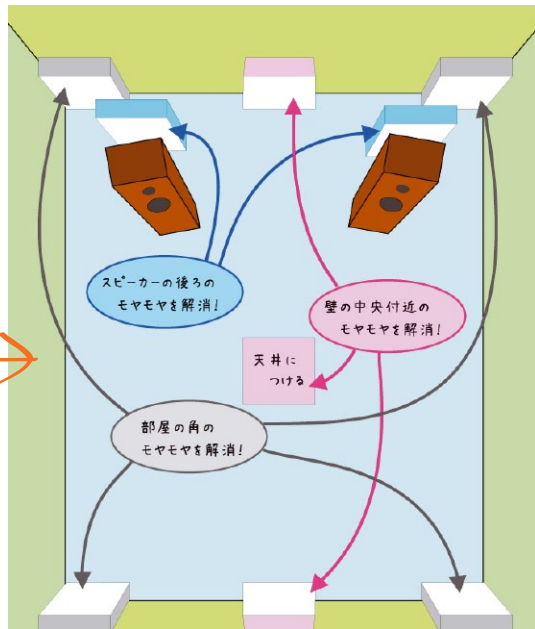
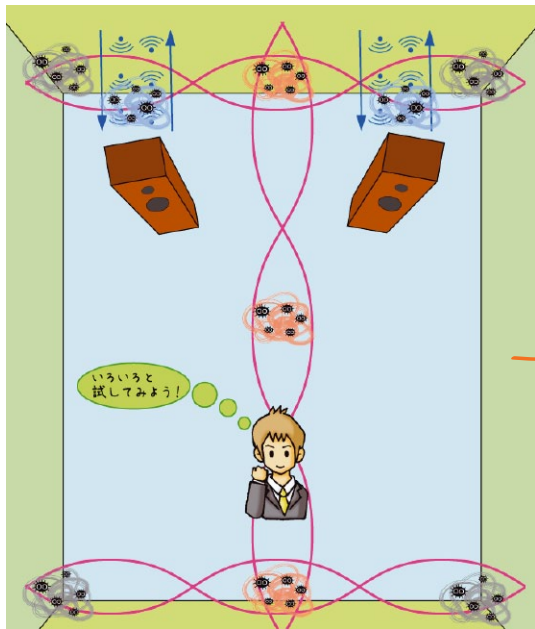


## ～モヤモヤポイント その3～

そして、意外と知られていない感じの3箇所目は「壁の中央辺り」です。

この位置に影響しているのは、ちょっとポピュラーなキーワードの「定在波」です。

壁と壁の間隔（距離）に応じて必ず発生してしまうこの定在波を防ぐためには、壁の中央付近に吸音材を置くのが一番。



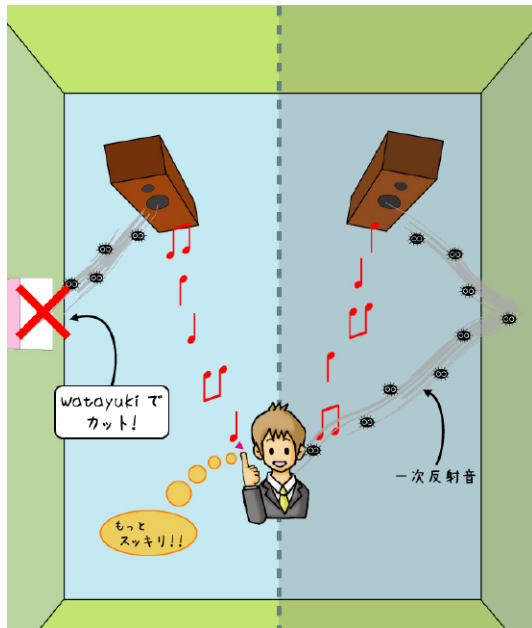
スピーカーの後ろ側の壁はもちろんですが、スピーカーの正面（自分の後ろ側）の壁や天井の中央付近に吸音材を置くのも効果があるんですよ！

吸音材を置くポイントの基本はわかりましたか？

## こんなセッティングもあるよ!

左右の壁で反射した音（一次反射音）は、遠回りした分だけちょっと遅れて聞こえるので、直接聞こえてくる音と重なった時に、悪影響になってしまいます。

基本のポイントだけでは抑えきれない場合には、壁に反射して聞こえる音を抑制するために、左右の壁にも取り付けてみましょう！



## Watayuki & Dokayuki 設置イメージ

実際には部屋の環境によって一番影響の強い“モヤモヤ”があると思いますので、お部屋の環境に応じたモヤモヤを探し、Watayuki & Dokayuki でスパッと撃退してしまいましょう！

壁の中央あたり  
スピーカーの後ろ  
(背面バスレフの位置など)



## 【取付方法】

Watayuki & Dokayuki は吸音材を入れた軽量な紙箱ですので、  
スピーカーの後ろや棚の上などに気軽に置くことができます。  
また、蓋と中身の二重構造を利用する事で、  
スッキリと壁などに取り付けることも出来ます。

### こんなにカンタン！色々な場所に試してみよう！



#### 1. 蓋を開きます

ロゴマークのついた蓋を開くと、  
内側に吸音材が入っています。



#### 2. 取り付ける位置を決めます

吸音材を取り付ける位置を決めます。



#### 3. 蓋を取り付けます

取り付ける位置が決まったら、  
ロゴマークのついた蓋のみを画鋸や両面テープなどで  
壁に取り付けます。(2~3箇所固定できます)



#### 4. 中身を収納します

吸音材の入った中身を、取り付けた蓋に収納して  
セッティング完了です。  
取り付けた画鋸は、外側からは見えなくなります。



オーディオ銘機賞 2010  
受賞



金賞

その他アクセサリ  
ルームチューニング材部門  
金賞受賞



エコ製品

環境部材生産製品部門  
受賞

# Watayuki & Dokayuki



### 《Watayuki 仕様》

型名	雪 (白)	薄墨 (グレー)	桜 (ピンク)
寸法 (mm)	W 208 × D 208 × H 62		
重量 (g)	225 ± 5 / 1個		
販売価格 (税込)	¥3,150 (1個人)		

### 《Dokayuki 仕様》

型名	雪 (白)	なのはな (黄)	きんもくせい (橙)
寸法 (mm)	W 408 × D 408 × H 62		
重量 (g)	700 ± 20 / 1個		
販売価格 (税込)	¥5,250 (1個人)		